

『働くこと原論』〈The Elemental Lecture on Working〉コンテンツ一覧

1●仕事・キャリア Work and Career	
CR-#01	働くことの歴史俯瞰 ・各時代の働くことの意義づけ ・労役としての労働/天職(calling)としての労働 ・「オーガニゼーションマン/サラリーマン」の誕生 ・ビジネスパーソンの誕生 ・プロフェッショナルの歴史的変遷
CR-#02	キャリアについて ・キャリアの定義 ・キャリアをつくる3層+1軸 ・内的要素と外的要素 ・「能・観・志」+「人」 ・キャリアについての諸理論 ・不確実性のあるキャリア形成
CR-#03	あらためて「仕事」とは何か？ ・仕事とは能力資産を組み合わせて作る表現活動である ・仕事の平面的広がり ・仕事=価値創造の3種類(増減・変形・創造) ・「良い仕事」の思想
CR-#04	目的と手段 ・目的と手段の定義 ・目的の特殊性:自己目的的、無目的的 ・事業にとって利益追求は目的か手段か ・なぜ手段と目的が入れ替わるのか ・善目的のためであればどんな手段も肯定されるか~倫理の観点から
CR-#05	目標と目的 ・目標と目的の違いは何か ・「目標に働かされる」vs「目的に生きる」 ・目標は溢れるが目的がない組織 ・目的志向の職場づくり ・「意味」をどうやって創出するか
CR-#06	結果とプロセス ・結果とプロセスのどちらが大事か ・成果主義自体は悪くない ・人を活かすには「安」「競」「覚」がある ・結果はウソをつくときがあるが、プロセスはウソをつかない ・結果を出してこそプロセスは真に報われる
CR-#07	動機・働きがい・夢・志 ・動機の種類:「内発的/外発的動機」「利他的/利己的動機」「動機づけ要因/衛生要因」 ・働きがいとは何か? ・夢/志がみえてくるプロセス ・仕事の楽しさ:「フロー」の概念
CR-#08	キャリアマネジメント ・キャリア形成はゆらぎと偶発の中から ・「意図的につくりこくキャリア」と「結果的にできてしまうキャリア」 ・ジャズ音楽にみる即興とキャリアにおける状況創造 ・偶発と流動的キャリアをどうマネジメントするか
CR-#09	転職・天職・展職 ・「最初の仕事はくじ引きである」(P.ドラッカー) ・「適職探し・自分探し」という幻想 ・いまそこにある「展職」 ・転職は会社への裏切りか ・天職とは結果的にたどり着く境地
2●知識・能力 Knowledge and Ability	
KA-#01	能力について ・能力とは「物事を再現させる力」 ・能力の広がりと深さ ・価値をつくりだす回路=能力×意志×身体 ・汎用的技能と特殊な技能 ・専門力と統合力 ・「できること」と「成果を出すこと」は別物 ・人脈は大事な能力資産
KA-#02	「受」(Input)の力 ・価値創造回路の上流:みる しる きく よむ かんじる きづく (認知・観察・摂取・受信)
KA-#03	「解」(Throughput)の力 ・価値創造回路の中流:わかる かんがえる まとめる つなげる おぼえる きめる (理解・編集・記憶・決定)
KA-#04	「発」(Output)の力 ・価値創造回路の下流:かく いう だす つくる (製作・表現・提起・発信)
KA-#05	仕事力(1) 基盤能力 ・業務遂行における基盤能力:数量的スキル/論理的思考力/言語・文章力/コミュニケーション力/情報リテラシー/自己統制力 ・教養/常識/良識/道徳
KA-#06	仕事力(2) 対課題能力 ・課題を見つける力/分析する力/解決する力 ・仕事の意味を考え、仕事をつくり出す力 ・着眼大局(グランドデザインを描く)/着手小局(PDCAを回す)
KA-#07	仕事力(3) 対人能力 ・人と関係を築く力 ・人と協働する力 ・人を導く力(リーダーシップ)
KA-#08	人間力 ・能力を超えて~人間の魅力とは何か ・「人の器」をつくるもの ・「術に長ける」vs「道を究める」 ・情熱は伝染する~人は人から学ぶ ・人間力の考察~西郷隆盛/マハトマ・ガンジー/本田宗一郎
3●マインド・価値観 Mind and Values	
MV-#01	3つの自~自立・自律・自導 ・自立と自律の違い ・2つのリーダーシップ:他者を導くインターパーソナル・リーダーシップと自己を導く(=自導)セルフ・リーダーシップ ・航海のメタファー:自立=「船」、自律=「羅針盤」、自導=「目的地入り地図」
MV-#02	自律と他律 ・「律」とは何か ・自律は望ましく、他律は望ましくないか ・積極的に他律的であることが起こる日本の組織 ・「合律」という止揚(アウフヘーベン) ・組織の中の「よい律」は常に自律的な個の目線があつてこそ
MV-#03	「キャリアMQ」 ・キャリアマインドの傾向性診断ツール「キャリアMQ」 ・因子1:仕事の成就业態 ・因子2:雇用態度志向 ・因子3:キャリア形成環境 ・因子4:充足価値志向 ・因子5:自律度
MV-#04	「観」の醸成 ・観とは何か ・観を醸成するもの ・観と能力習得/志形成/人的ネットワーク構築との連関性 ・仕事観/キャリア観/事業観/組織観/社会観 ・ビジネスのグローバル化と観醸成の重要性 ・理念と信条
MV-#05	プロフェッショナルとは何か ・プロフェッショナルとは「倫理を誓う職業人」 ・職業倫理を考える:「ヒポクラテスの宣誓」 ・「組織内プロフェッショナル」の条件 ・職業人意識:「プロフェッショナリズム」と「プロフェッショナルシップ」
MV-#06	チャンスとリスク ・機会主義/挑戦主義 「チャンス感度」を上げる ・「セレンディピティの瞬間」:偶発を必然化する ・リスクテイキングの意識 「七放五落十二達」の法則 ・安すれば鈍する ・ブタとメンバのコミットメント
MV-#07	「個として強い」職業人 ・「会社人」と「仕事人」~働く忠誠心はどこにあるか ・「よい自分流」と「悪い我流」 ・自分の評価眼を持つ/自分の言葉を持つ ・目指すべきは「ビジネスコスモポリタン」 ・雇われる生き方/雇われない生き方
4●個人と組織・人とのつながり Individual and Organization / Human Relations	
RE-#01	個人と組織 ・事業組織が生まれる原理 ・分業が個人をどう変えるか ・組織という「場」 ・プロジェクトという「舞台」 ・ヒューマン・リソースからヒューマン・キャピタルへ ・人財の保持:物的リテンション/絆的リテンション
RE-#02	組織の中の人間関係 ・組織内の「よい人間関係」の定義 ・リーダーシップ(指導力)とフォロワーシップ(賢従力) ・上司と部下の健全な関係性 ・人脈の保持と活用 ・会社につく人脈/個人につく人脈
RE-#03	人生の師・人生の友・人生の書 ・師/友/書との出会い:「縁」を能動的につくりだす ・ロールモデルを持つこと ・情熱は伝染する ・生き方は人からしか学べない ・時空を超えての創造的対話 ・「志・想い」が人を引き寄せる
RE-#04	ゆるやかな絆の時代 ・「出世」とは何か? ・雇用組織とのよりよき関係づくり:「実家」「寄留地」としての会社 ・人的ネットワークは人的コスモス(宇宙) ・強い個の連帯:「Only is not lonely」 ・共感のネットワーク
RE-#05	目的志向の職場/対話のある組織 ・目的が人をつなげ目的が人を導く組織 ・「正の連帯」vs「負の連帯」 ・対話とは「1+1=3」の共創作業 ・「正・反・合」の止揚プロセス
RE-#06	組織文化 ・組織文化の醸成メカニズム ・「組織文化」と「組織風土」の違い ・理念・信条はどう共有されるか ・資産としての組織文化 ・風土病という害
5●仕事の幸福論 Happiness in Working Life	
HP-#01	成長すること ・成長=内的変革 ・成長することの4要素 ・連続的成長/非連続的成長 ・職業人としての成熟化とは ・「怠惰な多忙」問題 ・「守・破・離」 ・成長の喜び
HP-#02	仕事の報酬とは? ・目に見える報酬/目に見えない報酬 ・最大の仕事の報酬とは何か? ・キャリアの発展回路(拡大再生産)はどうか築かれるか ・「請求書の祈り」と「領収書の祈り」
HP-#03	成功と幸福 ・成功と幸福の違い ・「定規モデル」と「器モデル」 ・幸福とは「意味に向って坂を上っていくこと」 ・ナンバーワンを目指すか/オンリーワンを目指すか ・消費される仕事/消費されない仕事
HP-#04	競争社会に生きる ・競争原理の本質 ・競争か/共創か ・他人に勝つ/自分に克つ ・遊び心:楽天主義と楽観主義 ・生きる休息/死んだ休息 ・職のサステナビリティ(持続可能性) ・ストレスと共生する ・柔らかな自己主張
HP-#05	負の力を生かす ・「高い山の美しさは深い谷がつくる」 ・苦勞、失敗、修羅場経験を活かす ・同苦・同情するという知的活動 ・悔しさ、反骨心というエネルギー ・負の攪乱の力=嫉妬・虚勢・慢心 ・泰然自若力
HP-#06	自信について ・人間とは意味を求める動物である ・2種類の自信~自らの信ずるものか ・「グラン・ジュテ(大きな跳躍)」はいつ訪れる? ・承認欲求と自信の問題 ・負けたら終わりではない。やめたら終わりだ
HP-#07	心のマスターになれ ・欲の二面性と無境界性 ・欲をどう司るか ・足るを知る ・自分でいること ・「おおいなるもの」へのまなざし
HP-#08	生きること・働くこと ・生きる中の「働く」こと ・哲学/理念を力にする ・偉人・偉業から学ぶこと ・豊かさを考える ・公私の「バランスか/ブレンドか」 ・「道」としての仕事・職業 ・「余命1年」と宣告されたら:人生時間の有限性